産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成29年 6月23日

愛知県知事 殿

提出者

住所 岡山県岡山市北区内山下1-1-13 氏名 株式会社 大 本 組 安全環境品質部長 鹿児島 小次郎 電話番号 086-227-5164

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成28年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 大本組 名古屋支店 愛知県内 建設工事作業所 (名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊田市内を除く)
事業場の所在地	(作業所) 愛知県内(名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊田市内を除く) (事業者) 愛知県名古屋市千種区池下1-10-8
事業の種類	建設業 総合工事業 ・一般土木建築工事業 【 0611 】
産業廃棄物処理計画における 計画期間	平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日(1年間)

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値		項目	目標値	
排出量	3803	t	全処理委託量	3803	t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0	t	優良認定処理業者へ の 処理委託量	848	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0	t	再生利用業者への 処理委託量	3359	t
自ら中間処理により減量 する産業廃棄物の量	0	t	認定熱回収業者への 処理委託量	0	t
自ら埋立処分又は 海洋投棄処分を行う 産業廃棄物の量	0	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14) に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者) への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業 廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。































































